

「第三次富士市DV対策基本計画（案）」の  
パブリック・コメントに対する意見及び回答

反映結果の項目は、「1 反映する」、「2 既に盛り込み済み」、「3 今後の参考にするもの」、「4 反映できないもの」、「5 その他（案件とは無関係な意見等）」の5区分

No.	意見の内容	市の考え方	反映結果
1	DVの原因として、両親共働きで、社会（企業）によるパワハラ・セクハラ、成果主義社会の社会で、ストレスを家庭に持ち込むことや大人になり切れていない大人が、望まない出産により、DVに発展していくので、義務教育の段階で、性教育や道徳教育をすべきだと考えます。計画案に関しては賛成です。	本市では、令和2年度に、278人からDV相談が寄せられましたが、その内、60人が10代・20代からの相談であったことから、デートDVを含め、若い世代に対して早期からDV防止に関する教育・啓発が求められています。本計画では、基本目標Ⅰの施策2で「若年層（中高生）への人権教育・啓発の実施」を掲げ、義務教育の段階から、人権教育・啓発を進めていきます。	2 既に盛り込み済み